平成 27 年 9 月 30 日

平成 27 年度東京都「生徒の学力向上を図るための調査」結果について（報告）

東京都が都内の公立中学校２年生全員を対象に、学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況、そして「読み解く力」に関する定着状況を把握し、「確かな学力」の定着と伸長を図るための調査を実施しました。その結果と分析（概要）について報告します。

なお、東京都「調査結果報告書」による結果の公表、分析等は、平成 27 年 11 月を予定しております。東京都教育委員会のホームページにも掲載される予定です。

実　施　日　　平成 27 年 7 月 2 日(木)
個人票返却日　　平成 27 年 9 月 24 日(木)

１　調査の目的

東京都教育委員会は、以下に示す目的により、都内公立小・中学校の児童・生徒に、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（以下「調査」という。）を実施する。

(1) 都教育委員会は、学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況及び、読み解く力に関する定着状況を把握し、全都における教育行政施策に生かす。
(2) 区市町村教育委員会は、教育課程や指導方法等に関わる自地区の課題を明確にし、その充実・改善を図るとともに、自地区の教育行政施策に生かす。
(3) 各学校は、教育課程や指導方法等に関わる自校の課題・解決策を明確にし、児童・生徒一人一人の学力の向上を図る。
(4) 都教育委員会は、都民に対し、東京都の公立小・中学校における児童・生徒の学力の状況について、広く理解を求める。

２　調査対象とする生徒

中学校第２学年の生徒

３　実施日、調査内容等

調査対象	実施日	調査名	内　　容
各学校	平成 27 年 7 月 2 日（木） ※調査の正確さを期するため、この日に実施することを原則とする。	学校に対する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査（質問紙法）
中学校第２学年		学習に関する意識調査	児童・生徒の生活や学習に関する意識や実態に関する調査（質問紙法）
		学力向上を図るための調査	学習指導要領に示す国語、社会、算数・数学、理科、外国語〈英語〉の内容に基づいた問題及び各教科等の学習において必要となる読み解く力の育成を図る問題による調査

・学習に関する意識調査として、生活や学習に関する意識や実態を測る。

・これまでの学習内容（国語・社会・数学・理科・英語）がどの程度定着しているかを測る。
⇒教科の観点ごとの正答率で示されています。
・各教科の「読み解く力」がどの程度定着しているかを測る。
⇒教科の「読み解く力」ごとの正答率で示されています。

４　調査項目

中学校第２学年

教科	調　　査　　項　　目
国語	・話すこと・聞くこと（「聞くこと」については、音声を聞いて答える問題） ・漢字の読み（小学校「学年別漢字配当表」） ・漢字の書き（小学校「学年別漢字配当表」） ・言葉に関する知識（文の成分の順序や照応） ・文学的な文章の読み・説明的な文章の読み・書くこと 【読み解く力】(1) 取り出す力　(2) 読み取る力　(3) 解決する力
社会	［地理的分野］ ・世界の地域構成・世界各地の人々の生活と環境・世界の諸地域 ・世界の様々な地域の調査・日本の地域構成 ［歴史的分野］ ・歴史のとらえ方・古代までの日本・中世の日本 【読み解く力】(1) 取り出す力　(2) 読み取る力　(3) 解決する力
数学	・正負の数・文字と式・一次方程式・比例と反比例 ・平面図形・空間図形・資料の活用 ・式の計算（第２学年） 【読み解く力】(1) 取り出す力　(2) 読み取る力　(3) 解決する力
理科	［第１分野］・光と音・物質のすがた・水溶液・状態変化 ［第２分野］・生物の観察・植物の体のつくりと働き・植物の仲間 ・地層の重なりと過去の様子・火山と地震 【読み解く力】(1) 取り出す力　(2) 読み取る力　(3) 解決する力
外国語（英語）	・聞くこと（音声を聞いて答える問題）・読むこと・書くこと 【読み解く力】(1) 取り出す力　(2) 読み取る力　(3) 解決する力 ※時制は現在形・進行形・過去形（be動詞含む）まで

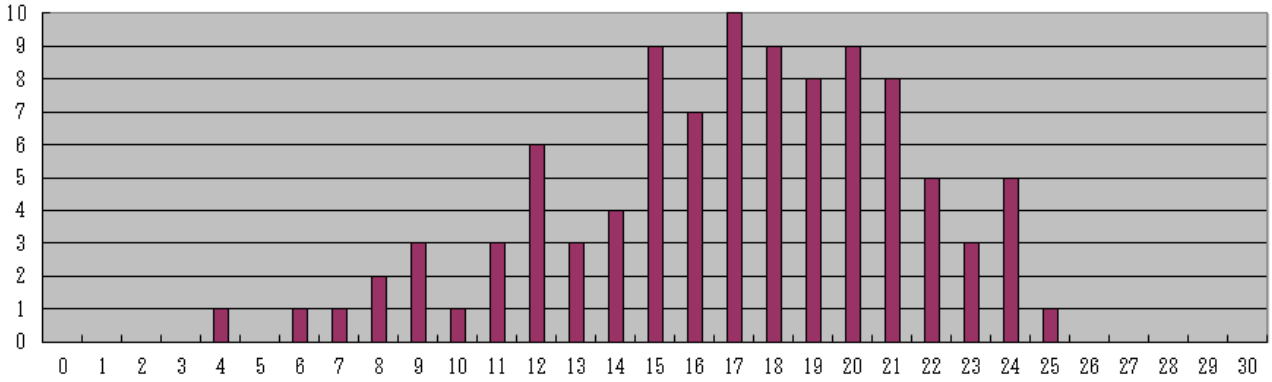
５　各教科の調査結果（正答率：%）

	A　教科の内容		B　読み解く力に関する内容		AとBの合計	
教科	武蔵野一中	東京都	武蔵野一中	東京都	武蔵野一中	東京都
国語	65.4%	58.4%	46.2%	30.7%	62.6%	54.3%
社会	61.6%	54.1%	66.0%	47.1%	62.5%	52.7%
数学	71.0%	58.3%	64.2%	52.3%	69.6%	57.0%
理科	60.7%	55.2%	43.4%	35.9%	56.0%	50.0%
英語	81.2%	64.5%	57.8%	41.7%	76.2%	59.6%

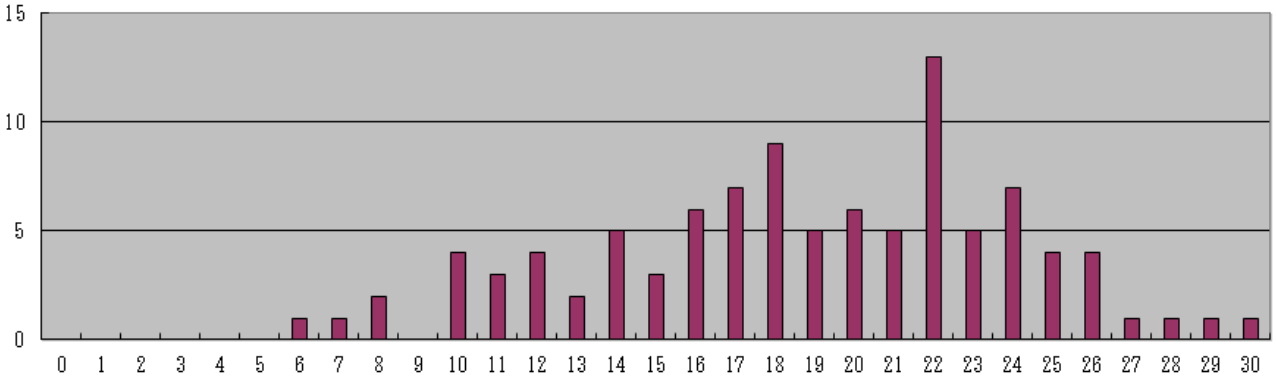
※東京都のデータは速報値であり、抽出校のデータです。

６　各教科の合計正答数の人数分布（横軸：合計正答数　　縦軸：人数）

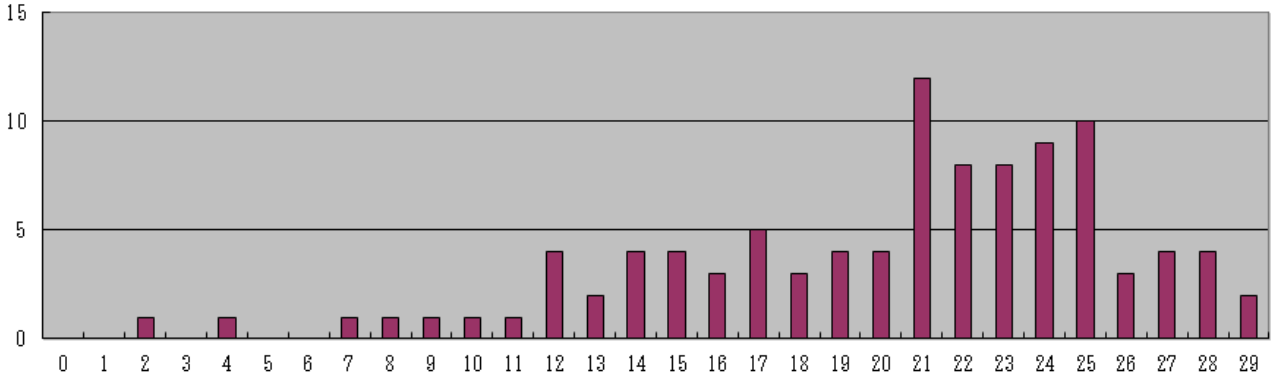
〔国語〕



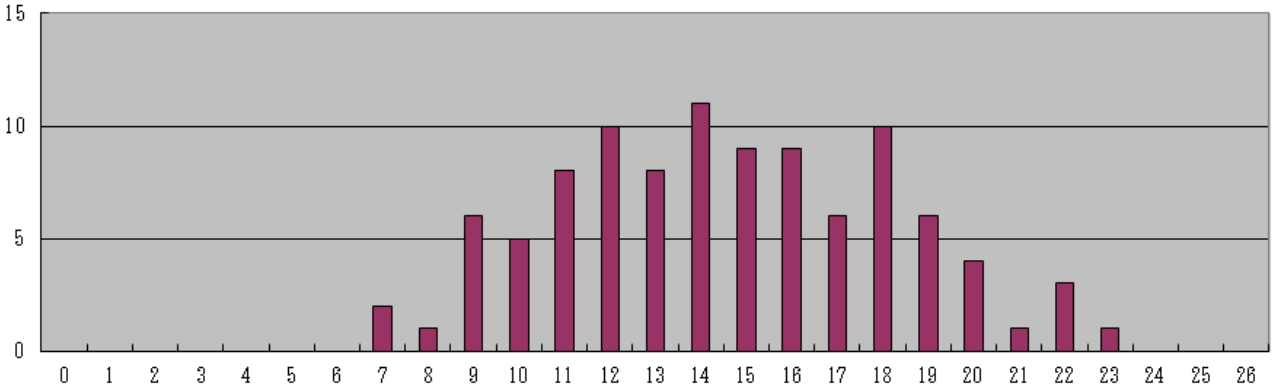
〔社会〕



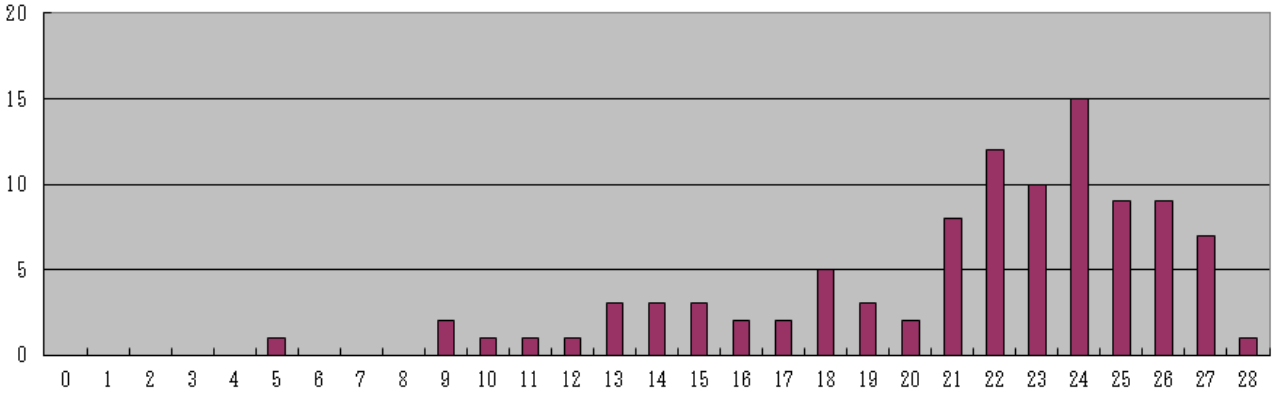
〔数学〕



〔理科〕



〔英語〕



7　本校の第２学年生徒の教科に関する調査結果の分析（概要）

今回の「生徒の学力向上を図るための調査」では、学習指導要領に示された目標や内容の実現状況を、以下の内容から調査しました。

『A：教科の内容』　『B：読み解く力に関する内容』

教科の内容を「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の４つの評価観点から調査しました（国語は５観点）。また、「読み解く力」の定着状況を「必要な情報を正確に取り出す力」「比較・関連付けて読みとる力」「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の３つの観点から調査しました。

・読み解く力に関する定着状況を調査する背景

平成 15 年度から平成 22 年度までの調査結果から、東京都の生徒については、学力の定着状況については、おおむね良好であるが、「長い文章を読んで内容を把握すること」や「情報を整理して判断すること」について、課題があることがわかりました。特に、目的や条件に応じて情報を取り出すことや、複数の情報を相互に関連付け、その結果を活用して、問題を解決することに課題があることが明らかになりました。こうしたことから、その後「読み解く力」の育成を図るため、調査が実施されることになりました。

（１）データから見る東京都の平均との比較

全ての教科で、合計平均正答率が東京都の平均よりも上回っています。特に、数学では約 12 ポイント、英語では約 16 ポイント高くなっています。

各教科の学習指導要領に示された目標や内容の実現状況では、全教科・全観点において東京都の平均正答率を上回っています。特に「思考・判断・表現」の調査内容の正答率が高く、特に数学では 12 ポイント、英語では 29 ポイント東京都の平均正答率を上回っています。「読み解く力」の定着状況でも、全教科において東京都の平均正答率を上回っている。特に「読み解く力」で社会が約 28 ポイント、英語が約 16 ポイント、「解決する力」で社会が約 19 ポイント、英語が約 17 ポイント東京都の平均正答率を上回っています。

以下に、各教科の調査結果の分析で特徴的なものを示します。

教　科	学習要領に示された 目標や内容の実現状況	「読み解く力」の定着状況
国 語	「関心・意欲・態度」では、都の平均正答率に比べて高いが５教科の中で国語が最も低い。ここから国語に対する苦手意識がうかがえる。教科の傾向としては「言語」「読む」の正答率が高く、「書く」の正答率が低い。理由を述べさせる問いで「(なぜなら) ～から。」と書けない解答が多い等、作文の基本の定着に課題があると考えられる。	「読み解く力」に関しては都の平均正答率より高い。特に「解決する力」が大きく上回っており、問いの意図を理解し、自分の考えをまとめることができていた。これは「教科の内容」における「読む」の正答率が高いことと関係していると思われるので、引き続き読解の指導を行いたい。
社 会	本校の生徒の「Ａ：教科の内容」の結果を分析すると、「関心・意欲・態度」では、意欲的に解答しようとしている生徒が大多数である。「思考・判断・表現」では、選択問題の正答率がやや低い。「技能」では、複数の資料を比較する力が比較的低い。「知識・理解」では、かなり高い正答率を出しているが、個々の正答率にばらつきがある。	「Ｂ：読み解く力に関する内容」では、「必要な情報を正確に取り出す力」と「比較・関連付けて読み取る力」は 70%程度の生徒は身に付いている。「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」については、男子よりも女子の方がよい結果を出している。
数 学	どの観点も都の平均正答率より高い。「技能」、「知識・理解」については、日頃の指導の成果が出ていると考えられる。それに対し、「思考・判断・表現力」については、本校 40%で、都の正答率は上回っているが、課題があると考えられる。	３つの観点すべてが都の平均正答率を上回っているが、本校の「読み取る力」が他の観点に比べ 51.5%とやや低いことが課題である。また「取り出す力」は 78.5%と高いため、今後もこの力を維持していくよう指導を行っていく。
理 科	どの観点も都の平均正答率と比べ高いが、「関心・意欲・態度」の 94.0%と非常に高いのに対して、他の３つの観点は 60%前後とあまり高くない。	「読み解く力」の３つ観点「取り出す力」「読み取る力」「解決する力」はどれも都の正答率よりも高い。しかし、本校の「読み取る力」が 34.4%「解決する力」が 41.5%という正答率には課題が残る。
英 語	どの観点も高い正答率を得ている。 特に「外国語表現」の数値が高く、日頃のライティング指導の成果が出ていると考えられる。	都の平均正答率 41.7%に対して本校生徒は 57.8%の正答率である。都の平均正答率に比べて高い数値ではあるが、引き続きこの力を伸長させる学習活動を行っていく。

（２）合計正答数の人数分布から見る分析

国 語

正答数の人数分布によると全30問中24問から11問の間に正答者数が多く、17問正答者を中心とした山形になっている。最も多い17問正答者数は10人であり、その他では4人から9人と、正答者数が細かく分かれている。最高点は25問正答で1人である。今後は得点が分かれないように全体の基礎学力の定着を図り、山が右寄りになるよう指導する必要がある。

社 会

本校の生徒の正答数の人数分布を分析すると、全30問中10問から26問の間に正答者が多い。22問正答した生徒が一番多く、かなり高いレベルでの正答率だと言えるが、人数分布のグラフで山がなだらかな曲線となっているので、高い正答率に収束するような指導が必要である。

数 学

本校の生徒の結果を分析すると、正答数は29問中21問から２５問が多く、次いで12問から20問の生徒が多いことが分かる。さらに山を右寄りにするため、習熟度別授業を通じて中間層の底上げを図れるよう指導していく必要がある。

理 科

合計正答数の人数分布は、26問中７問から23問までの間に入っており、14問を中心とする山型になっていて、全体としてばらつきが少ない。全体が右側にシフトするように、学習内容の定着させていくことが必要である。

英 語

都が公表したA層に属する生徒の割合が63%、B層が18%、C層が13%、D層が６％である。A層とB層を足すと81%であり、C層とD層を足すと19%である。今後は特にC・D層の底上げを図れるよう指導をしていきたい。

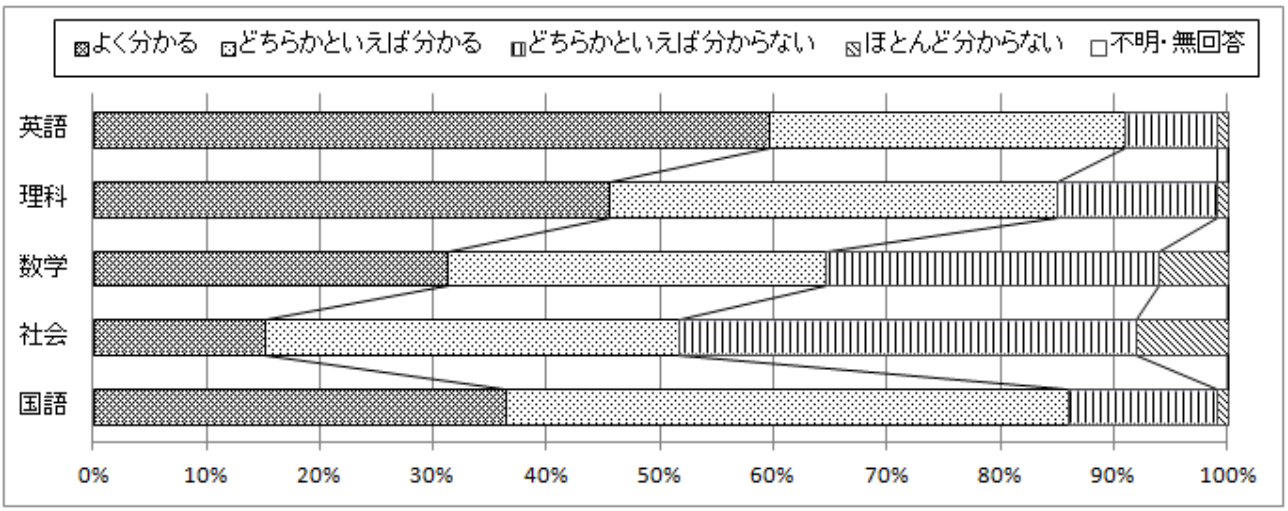
（各層は、調査者を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで４つの層に分けて行ったものであり、上位からA層、B層、C層、D層と呼称したものである。）

以上が、本校第２学年生徒の教科に関する調査結果を分析した概要です。
今回の調査結果をもとに、各教科の成果と課題を学習指導に活かし、さらなる学力向上に努めます。

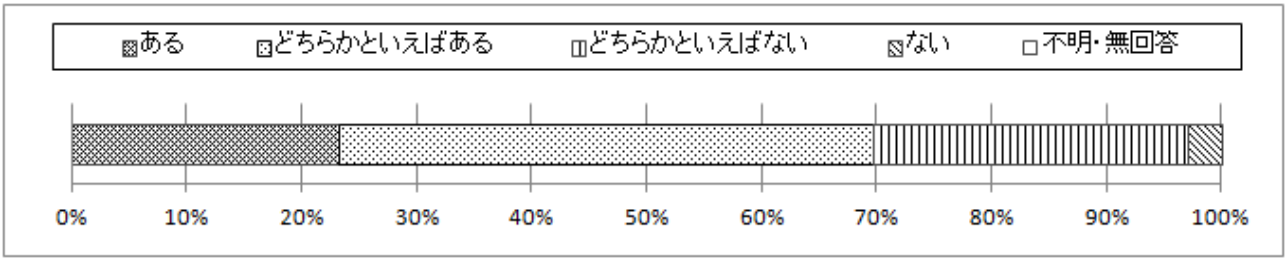
８　本校の第２学年生徒の生徒質問紙調査結果の概要について

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する 30 項目の質問事項を、質問紙調査として実施しました。本校の生徒の様子がわかる項目を抜粋して示します。

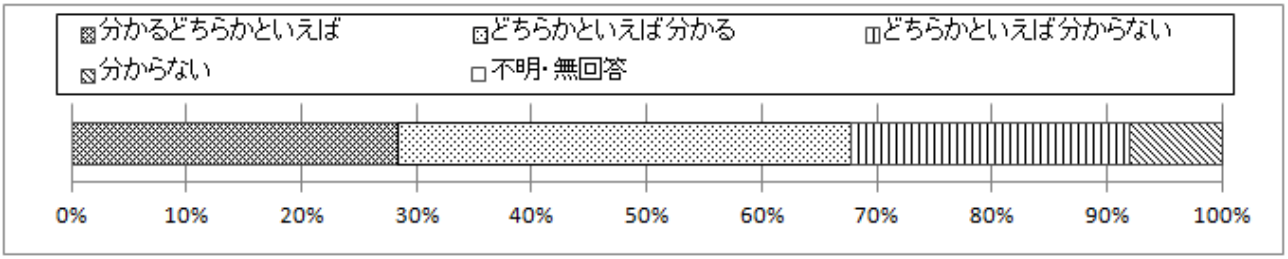
質問番号１　授業の内容はどのくらい分かりますか。



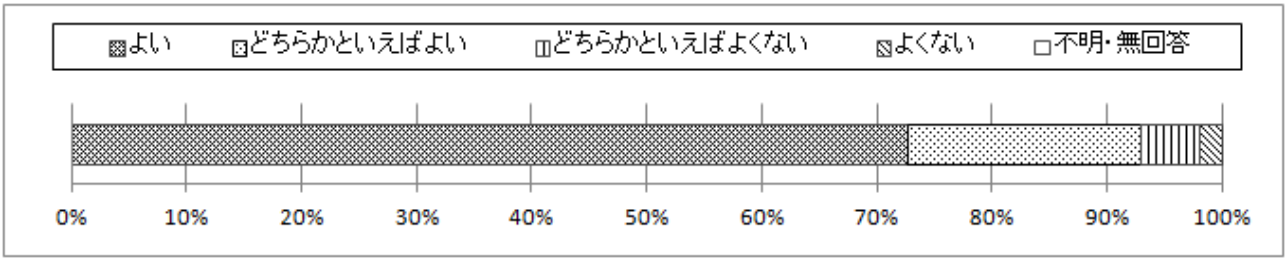
質問番号３－(1)　１年の数学の学習内容を理解している自信がありますか。



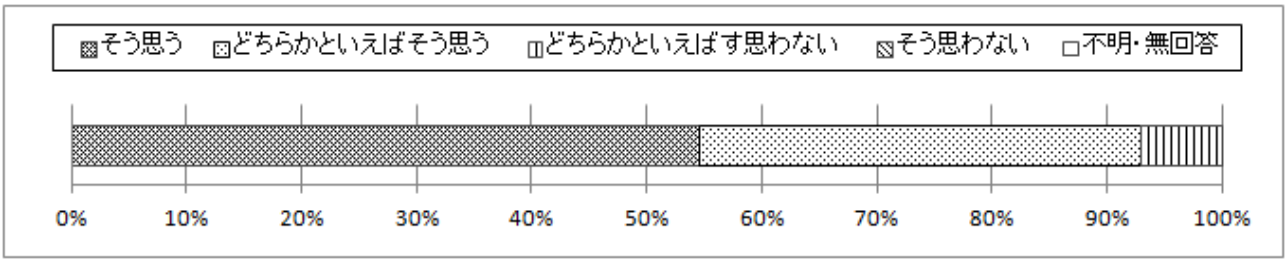
質問番号３－(2)　その日に受けた数学の授業の内容について,家に帰って何を学習すればよいか分かっていますか。



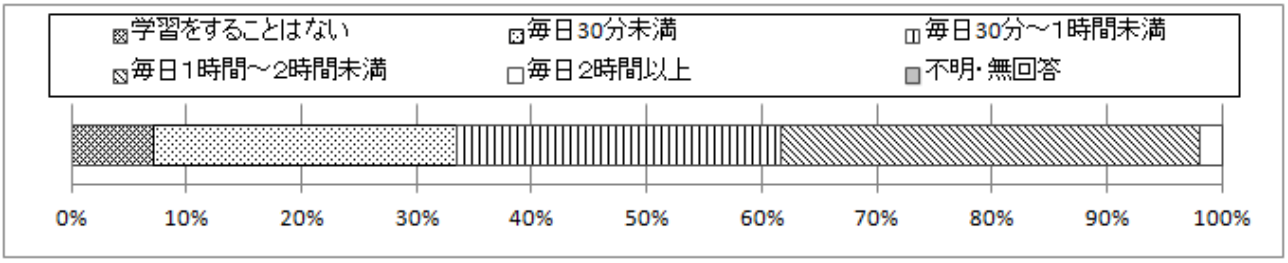
質問番号３－(3)　数学や英語において,自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることについて，どのように思いますか。



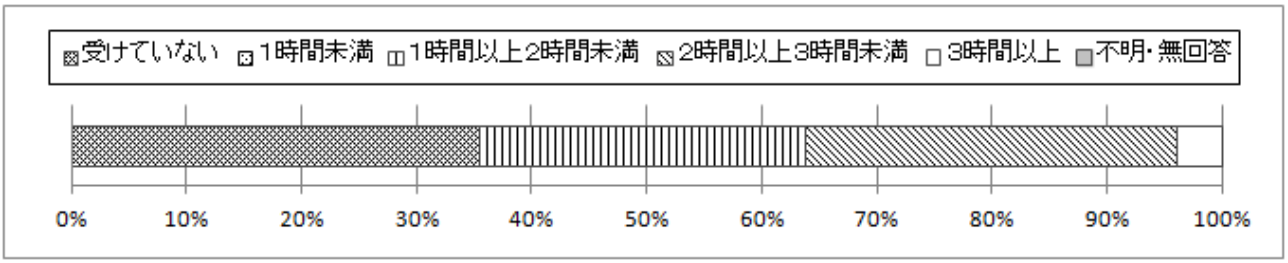
質問番号３－(4)　数学や英語において，自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることで，学力がつくようになると思いますか。



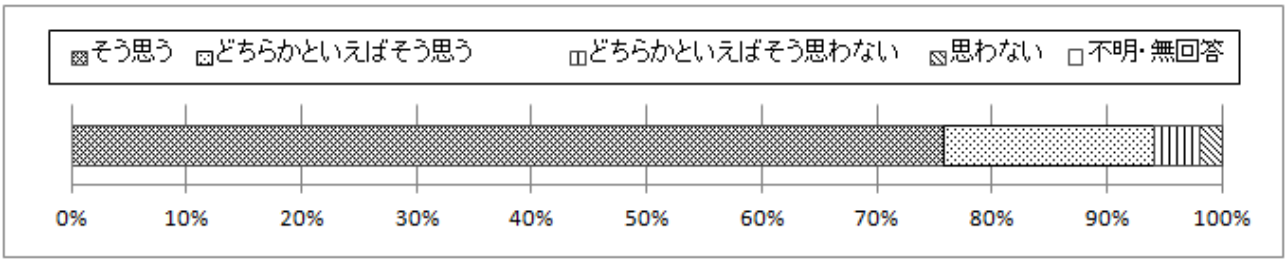
質問番号３－(5)　学校以外で,毎日およそどのくらい学習をしますか。(塾や習い事はふくめません。)



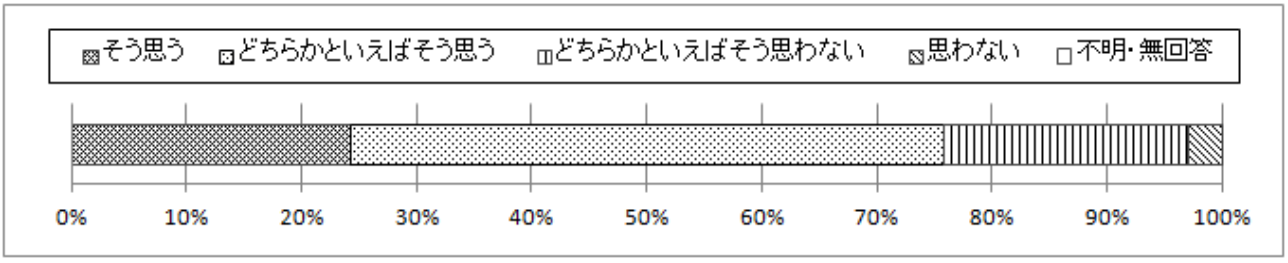
質問番号３－(6)　塾の先生や家庭教師の先生による学習の時間は，１日当たりどのくらいですか。



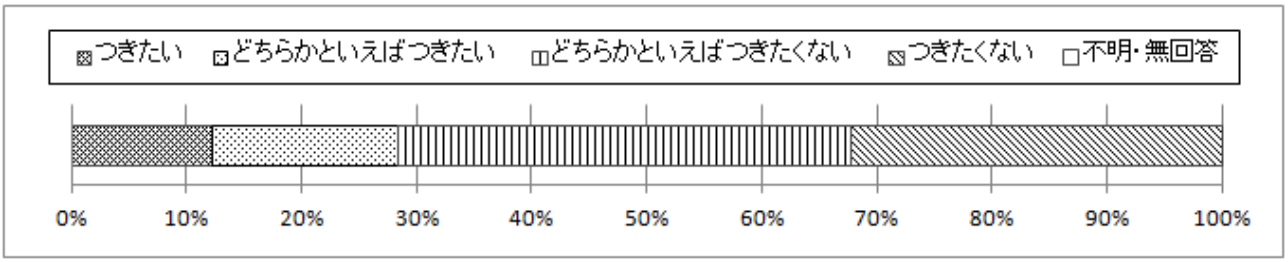
質問番号４－(1)　理科の授業で，もっと観察・実験をしたいと思いますか。



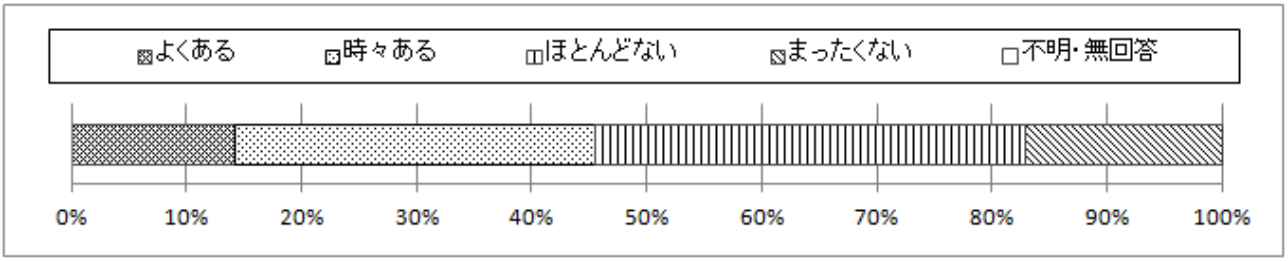
質問番号４－(2)　理科の授業で学習したことは，普段の生活で役立つと思いますか。



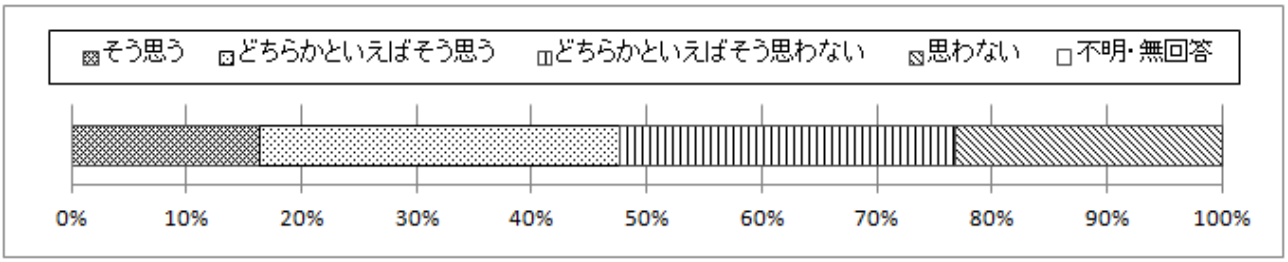
質問番号４－(3)　将来，「理科や数学，科学技術に関係する仕事」につきたいと思いますか。



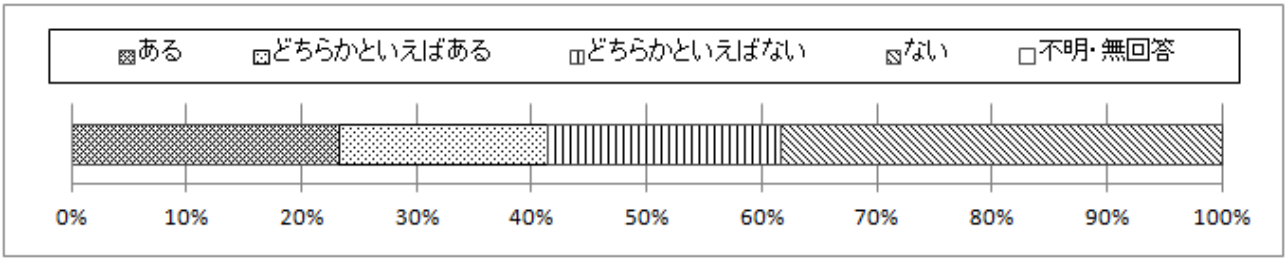
質問番号５－(1)　学校・塾・習い事以外で，英語を使う機会がありますか。



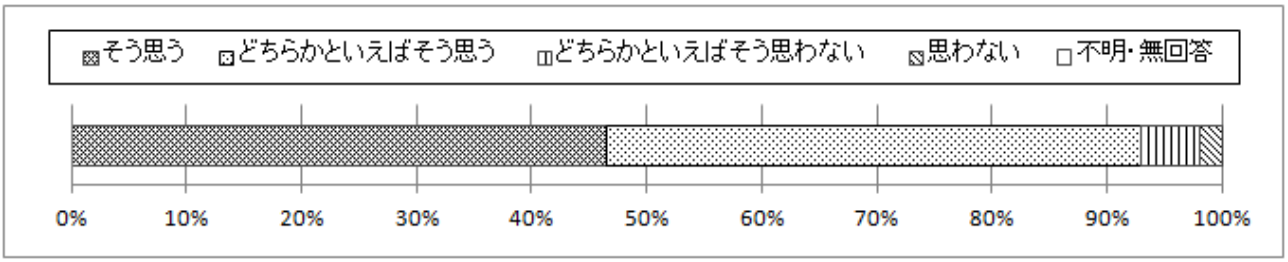
質問番号５－(2)　学校・塾・習い事以外で，外国の人がいるとき，話しかけたいと思いますか。



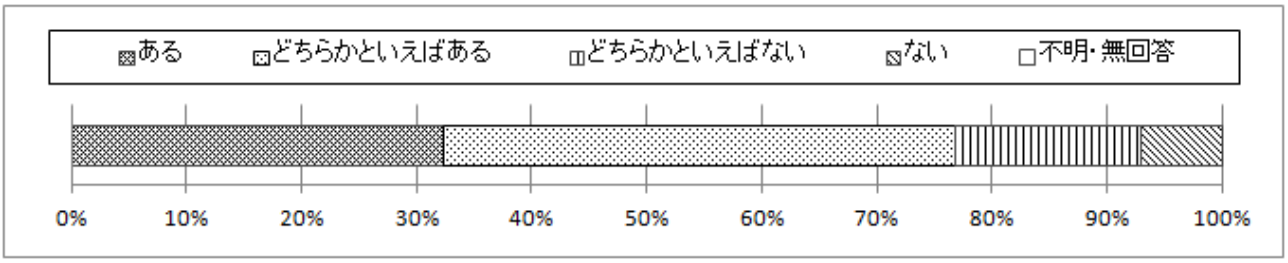
質問番号５－(3)　学校・塾・習い事以外で，外国の人がいるとき，話しかけたことはありますか。



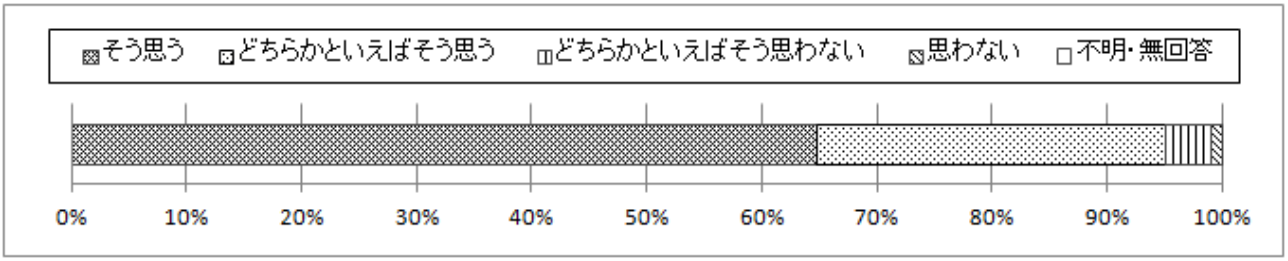
質問番号６－(1)　自分の住む地域や社会をよくしたいと思いますか。



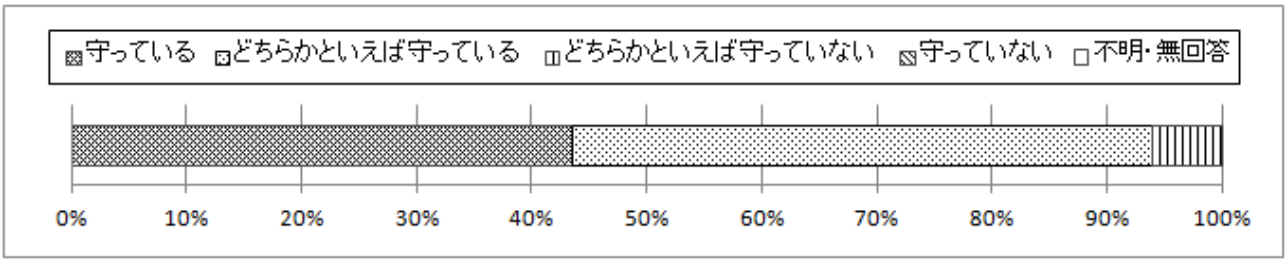
質問番号６－(2)　たとえ小さなことでも，地域や社会をよくするために何かしたことがありますか。



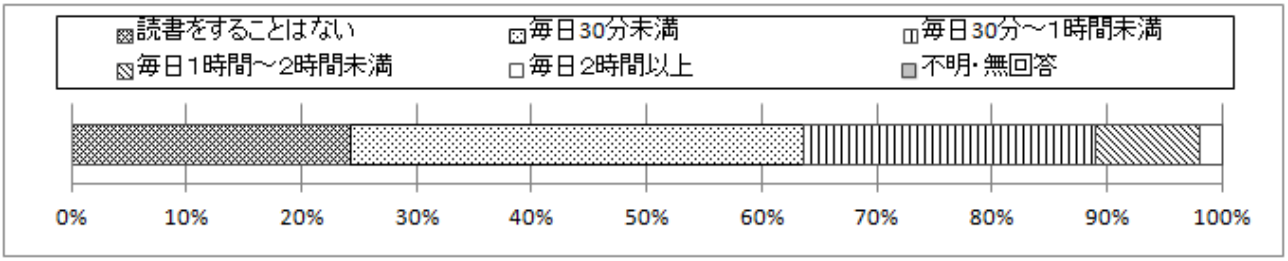
質問番号６－(3)　学校の規則やきまりを守ることが大切だと思いますか。



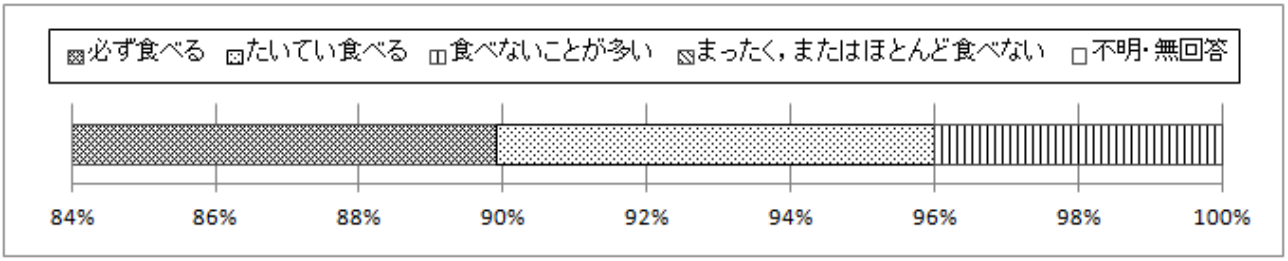
質問番号６－(4)　学校の規則やきまりを守っていますか。



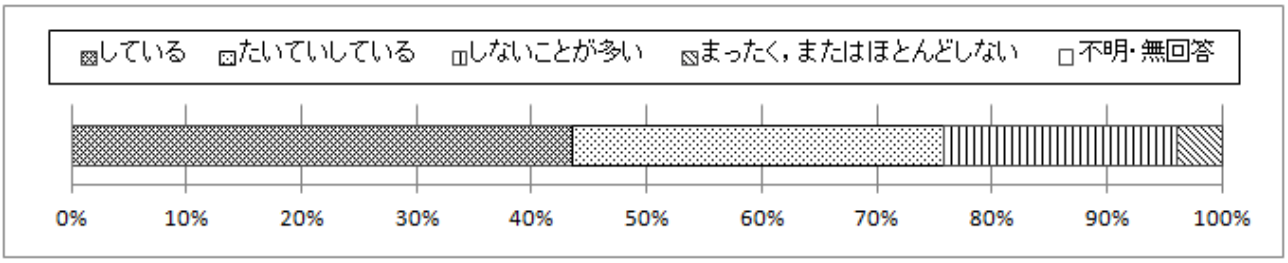
質問番号６－(5)　読書を，毎日およそどのくらいしますか。
（学校での読書をふくめてよい。ただし，教科書やマンガはのぞきます。）



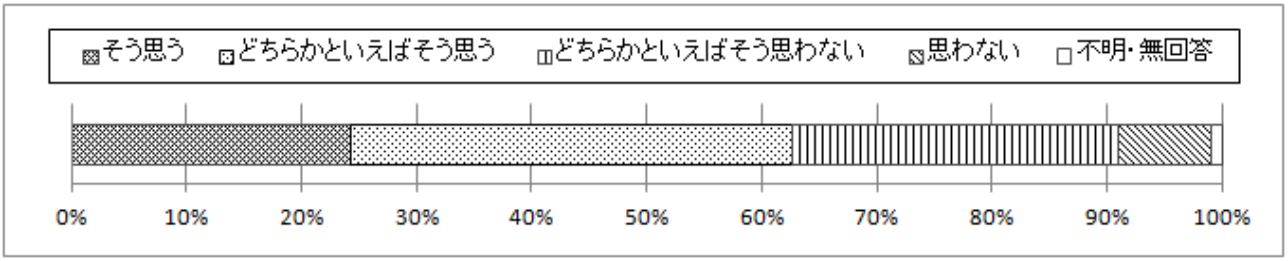
質問番号６－(6)　学校に行く前に朝食を食べますか。



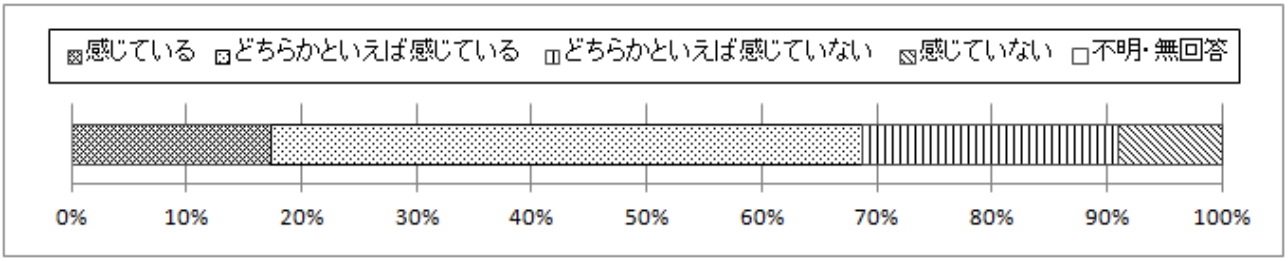
質問番号６－(7)　家の人と，学校や社会の出来事について話をしていますか。



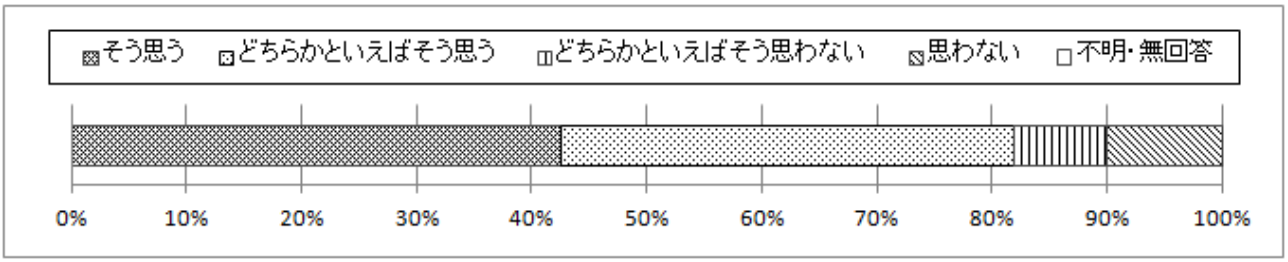
質問番号６－(8)　自分は，最後までやりぬくなど，根気強い方だと思いますか。



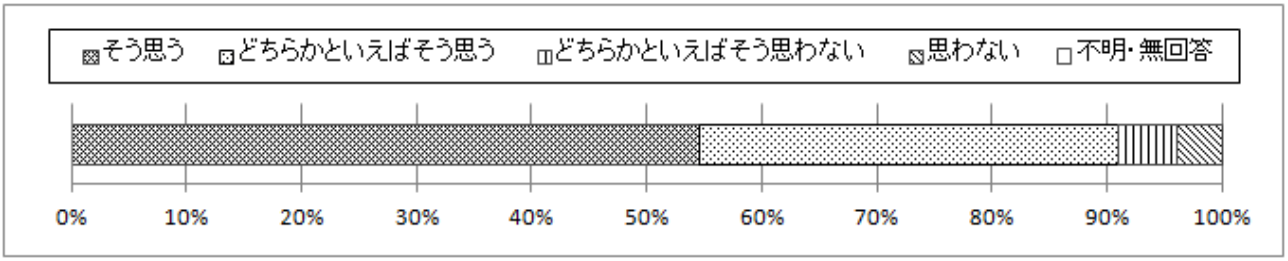
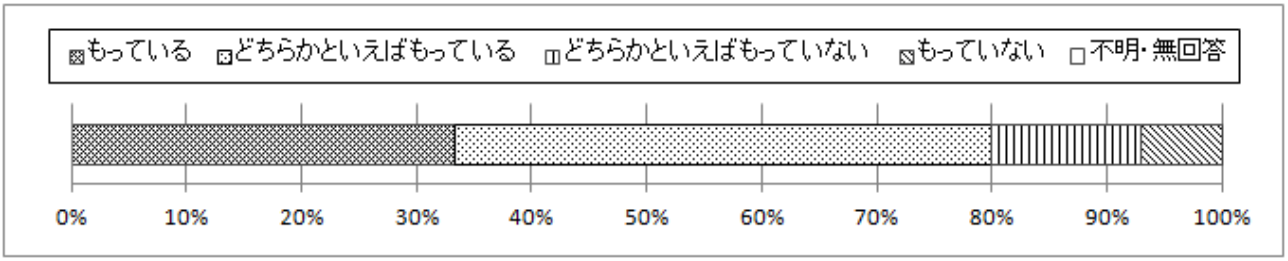
質問番号６－(9)　自分のことを大切な存在だと感じていますか。



質問番号６－(10)　自分の国のよいところを外国の人に伝えたいと思いますか。



質問番号６－(11)　将来，社会や人のために役立つ仕事がしたいと思いますか。



質問番号６－(12)　自分の将来に，希望をもっていますか。